2023年3月期 第3四半期決算短信（日本基準）（連結）

2023年2月10日

上場会社名　中越パルプ工業株式会社　　上場取引所　東
コード番号　3877　URL https://www.chuetsu-pulp.co.jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）植松 久
問合せ先責任者　（役職名）管理部長　（氏名）秋永 吉男　TEL 0766-26-2404
四半期報告書提出予定日　2023年2月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満切捨て）

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	76,950	16.9	731	△62.1	1,450	△40.2	996	△16.3
2022年3月期第3四半期	65,850	12.5	1,931	―	2,424	―	1,190	―

（注）包括利益　2023年3月期第3四半期　1,798百万円（34.9%）　2022年3月期第3四半期　1,333百万円（―%）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	74.65	―
2022年3月期第3四半期	89.18	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	123,876	49,884	40.3	3,734.90
2022年3月期	122,029	48,620	39.8	3,639.20

（参考）自己資本　2023年3月期第3四半期　49,861百万円　2022年3月期　48,584百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	―	20.00	―	20.00	40.00
2023年3月期	―	20.00	―		
2023年3月期（予想）				20.00	40.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 2023年 3月期の連結業績予想（2022年 4月 1日～2023年 3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	106,500	18.2	1,300	△44.7	2,500	△18.8	1,500	18.2	112.36

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無

② ①以外の会計方針の変更 ： 無

③ 会計上の見積りの変更 ： 無

④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	13,354,688 株	2022年3月期	13,354,688 株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	4,391 株	2022年3月期	4,314 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	13,350,327 株	2022年3月期3Q	13,350,771 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び当社が合理的であると判断した一定の前提に基づいた見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、今後様々な要因の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、業績予想に関する事項については、四半期決算短信（添付資料）3ページの「1．当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報） …… 8
（重要な後発事象） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当社グループを取り巻く経済環境は、新型コロナウイルス感染症の影響が残るなか社会活動の回復が進み、個人消費を中心に持ち直しの動きが見られたものの、円安や長期化するロシア・ウクライナ問題による国際情勢の不安定化、原燃料価格の高止まり等、景気の先行きは依然不透明な状況が続いております。

このような状況のなか当社グループは、グラフィック用紙の需要減退に対応すべく、紙・パルプ事業の生産体制再構築の取り組みを進めるとともに、グループ事業について選択と集中による収益力向上を図るなど、既存事業の発展・強化に努めております。

環境ビジネスとしては、nanoforestの化粧品原料への利用拡大、鶏舎用改善資材としての販売や農業資材の法人向け試験販売を開始し実用化への取り組みを進めるとともに、プラスチック使用削減に貢献する中越エコプロダクツ事業については試運転を進め、早期事業化に注力しております。

当第３四半期連結累計期間の営業成績につきましては、製品価格の改定や製品販売強化に取り組みましたが、原燃料価格高騰の影響などにより前期と比較し、増収・減益となりました。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

連結売上高	76,950 百万円	（前年同四半期比　16.9%増）
連結営業利益	731 百万円	（前年同四半期比　62.1%減）
連結経常利益	1,450 百万円	（前年同四半期比　40.2%減）
親会社株主に帰属する四半期純利益	996 百万円	（前年同四半期比　16.3%減）

（紙・パルプ製造事業）

紙パルプ事業につきましては、拡販や製品価格の改定、パルプ販売の拡大に努めたものの、原燃料価格高騰により、増収・減益となりました。

◎ 新聞用紙

新聞用紙につきましては、発行部数の減少による全体的な需要減と前期の他社被災に伴う新聞社への救援納入が大きかったため、数量、金額ともに前期を下回りました。

◎ 印刷用紙

印刷用紙の国内販売につきましては、コロナ禍で落ち込んでいた経済活動が緩やかな回復傾向にあり、チラシ関連を中心に需要増となりました。輸出についても期後半での東南アジアの需要減の状況はありましたが前期を上回りました。金額も販売数量増に加え値上げと円安が寄与して前期を上回ることが出来ました。

◎ 包装用紙

包装用紙の国内販売につきましては半導体不足による自動車関連低調、製粉関連の伸び悩みの影響はありましたが、行動制限解除による土産物関連での手提袋の需要回復、輸出では東南アジアを中心とした需要に支えられ数量は前期を上回りました。販売数量増に加え値上げと円安が寄与し金額も前期を上回ることが出来ました。

◎ 特殊紙・板紙及び加工品等

特殊紙・板紙及び加工品等の販売につきましては、壁紙は好調に推移し前期を上回り、脱プラ需要および巣ごもり需要の食品関連を中心とした加工原紙も前期を上回りました。金額に関しましても販売数量増に加え値上げが寄与し前期を上回ることが出来ました。

◎ パルプ

パルプの販売につきましては、世界的にパルプ市況が上昇するなか、数量・金額ともに前期を上回りました。

これらにより、当事業の業績は以下のとおりとなりました。

連結売上高	68,455 百万円	（前年同四半期比 18.4%増）
連結営業利益	80 百万円	（前年同四半期比 93.1%減）

（発電事業）

発電事業につきましては、燃料価格の高騰はありましたが、売電単価の価格改定を行ったことなどにより増収・増益となりました。

これらにより、当事業の業績は以下のとおりとなりました。

連結売上高	5,339百万円	（前年同四半期比　11.7%増）
連結営業利益	520百万円	（前年同四半期比　0.8%増）

（その他）

文具事業の事業整理や原燃料価格の高騰等により減収・減益となりました。

これらにより、当事業の業績は以下のとおりとなりました。

連結売上高	12,398百万円	（前年同四半期比　12.3%減）
連結営業利益	25百万円	（前年同四半期比　85.9%減）

（２）財政状態に関する説明

（総資産）

現金及び預金が6,662百万円減少しましたが、受取手形、売掛金及び契約資産が5,467百万円、原材料及び貯蔵品が2,242百万円増加したこと等により、総資産は前連結会計年度末比微増の、123,876百万円となりました。

（負債）

金融機関からの借入金が3,501百万円減少しましたが、支払手形及び買掛金が4,434百万円増加したこと等により、負債合計は前連結会計年度末比ほぼ横ばいの、73,991百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2.6%増加し、49,884百万円となりました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益996百万円により利益剰余金が増加したことによります。自己資本比率は前連結会計年度末に比べて0.5ポイント増加し、40.3%となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年３月期の業績予想につきましては、2022年11月10日に公表しました「2023年３月期第２四半期累計期間業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」における業績予想から見直しは行っておりません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2022年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2022年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,861	8,199
受取手形、売掛金及び契約資産	22,720	28,188
商品及び製品	8,124	8,677
仕掛品	492	635
原材料及び貯蔵品	4,539	6,782
その他	2,564	2,817
貸倒引当金	△2	△3
流動資産合計	53,301	55,298
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	52,044	52,156
減価償却累計額	△35,505	△36,348
建物及び構築物（純額）	16,539	15,807
機械装置及び運搬具	240,663	241,170
減価償却累計額	△214,656	△216,743
機械装置及び運搬具（純額）	26,007	24,427
その他	13,074	14,749
減価償却累計額	△2,932	△2,979
その他（純額）	10,141	11,769
有形固定資産合計	52,688	52,004
無形固定資産		
その他	386	317
無形固定資産合計	386	317
投資その他の資産		
投資有価証券	8,256	9,311
その他	7,420	6,954
貸倒引当金	△44	△44
投資その他の資産合計	15,632	16,221
固定資産合計	68,707	68,543
繰延資産	20	34
資産合計	122,029	123,876

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2022年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2022年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,979	17,414
短期借入金	27,328	23,996
未払法人税等	493	86
賞与引当金	512	162
その他	5,255	5,603
流動負債合計	46,569	47,264
固定負債		
長期借入金	20,442	20,273
固定資産撤去費用引当金	320	244
環境対策引当金	159	130
関係会社事業損失引当金	47	47
事業構造改革引当金	60	－
退職給付に係る負債	5,631	5,831
その他	178	199
固定負債合計	26,839	26,727
負債合計	73,408	73,991
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,864	18,864
資本剰余金	16,253	16,253
利益剰余金	12,905	13,368
自己株式	△7	△8
株主資本合計	48,015	48,478
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	799	1,406
為替換算調整勘定	31	217
退職給付に係る調整累計額	△262	△241
その他の包括利益累計額合計	568	1,383
非支配株主持分	35	23
純資産合計	48,620	49,884
負債純資産合計	122,029	123,876

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2021年４月１日 至 2021年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2022年４月１日 至 2022年12月31日）
売上高	65,850	76,950
売上原価	55,468	67,228
売上総利益	10,382	9,722
販売費及び一般管理費		
販売手数料	139	94
運搬費	4,358	5,074
保管費	1,213	1,137
その他	2,739	2,683
販売費及び一般管理費合計	8,450	8,990
営業利益	1,931	731
営業外収益		
受取利息	57	50
受取配当金	137	187
為替差益	179	486
持分法による投資利益	312	158
その他	59	73
営業外収益合計	745	956
営業外費用		
支払利息	213	188
その他	39	49
営業外費用合計	252	237
経常利益	2,424	1,450
特別利益		
固定資産売却益	2	21
受取保険金	75	－
特別利益合計	77	21
特別損失		
固定資産除却損	389	179
減損損失	221	77
環境対策引当金繰入額	156	－
事業構造改革費用	－	35
特別退職金	22	23
その他	86	50
特別損失合計	876	366
税金等調整前四半期純利益	1,625	1,105
法人税、住民税及び事業税	226	80
法人税等調整額	217	41
法人税等合計	443	121
四半期純利益	1,182	984
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△8	△12
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,190	996

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2021年４月１日 至 2021年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2022年４月１日 至 2022年12月31日）
四半期純利益	1,182	984
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	114	608
退職給付に係る調整額	16	18
持分法適用会社に対する持分相当額	19	187
その他の包括利益合計	151	814
四半期包括利益	1,333	1,798
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,341	1,810
非支配株主に係る四半期包括利益	△8	△12

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　2021年４月１日　至　2021年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位:百万円）

	報告セグメント			その他（注）	合計
	紙･パルプ製造事業	発電事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	54,955	4,780	59,735	6,114	65,850
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,844	―	2,844	8,018	10,863
計	57,800	4,780	62,580	14,133	76,714
セグメント利益	1,162	516	1,679	184	1,863

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ナノフォレスト事業、紙加工品製造事業、運送事業、設備設計施工・修理事業、原材料事業、紙断裁選別包装事業、中越エコプロダクツ事業等を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益又は損失（△）	金額
報告セグメント計	1,679
「その他」の区分の利益	184
セグメント間取引消去	60
棚卸資産の調整額	△7
その他の調整額	14
四半期連結損益計算書の営業利益	1,931

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　2022年４月１日　至　2022年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位:百万円）

	報告セグメント			その他（注）	合計
	紙･パルプ製造事業	発電事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	67,968	5,339	73,307	3,642	76,950
セグメント間の内部売上高又は振替高	487	―	487	8,755	9,243
計	68,455	5,339	73,794	12,398	86,193
セグメント利益	80	520	600	25	626

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ナノフォレスト事業、紙加工品製造事業、運送事業、設備設計施工・修理事業、原材料事業、紙断裁選別包装事業、中越エコプロダクツ事業等を含んでおります。

２.報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	600
「その他」の区分の利益	25
セグメント間取引消去	61
棚卸資産の調整額	30
その他の調整額	12
四半期連結損益計算書の営業利益	731

(重要な後発事象)

該当事項はありません。